

未来の福祉へ着実な一歩を 第14回かながわ高齢者福祉研究大会開催報告

7月8日、パシフィコ横浜（横浜市西区）にて、「第14回かながわ高齢者福祉研究大会」を開催しました。

この大会は、施設職員による実践や高齢者福祉に関わる取り組みの発表を通し、共に学び合い、本県の高齢者福祉の最前線を社会に発信することを目的に、本会老人福祉施設協議会会員施設が中心となって毎年開催しているものです。

14回目を迎える今回は「未来の福祉へ着実な一歩を」をテーマに、心を受け継ぐ人がいるという



発表を終えた感想を一言お願いします！



- ① 東京工芸大学（厚木市）の協力のもと、学生による撮影チームが発表者にインタビュー
- ② 福祉現場で活躍する福祉従事者、介護・福祉を志す学生、関係者ら約2千人が集いました

マに、多彩なプログラムが企画されました。

研究発表には153題、介護技術発表には20施設がエントリー。心身の状況を丁寧に分析した介護方法の検討や本人の気持ちをおくみ取る支援など、各施設で大切にしているケアの視点がうかがえました。

施設紹介・就職相談コーナーには、87法人が出展し、介護福祉士養成校学生ら約550人が参加。なお、今回は、障害者雇用や職場実習など、地域における社会福祉法人の役割発揮に向けたきつかけとなるよう、特別支援学校等の進路担当教員の皆さんにも参加いただきました。

協賛企業出展コーナーでは、介護用品や経営支援ツール等の展示に来場者の多くが足を止めていました。

本会では今後も関係機関・団体等と連携し、高齢者福祉の最前線を発信していきます。

（社会福祉施設・団体担当）

第14回かながわ高齢者福祉研究大会 優秀賞受賞演題・施設名一覧

■ 介護技術発表（5施設）

発表部門	施設名
緊急時対応「ノロ発生時の対応」	羽沢の家
移動介護（トランスファー）	けいあいの郷 緑園
認知症ケア	金井原苑
食事介助・介護食の展示	村岡ホーム
口腔ケア	横浜市浦舟ホーム



③にぎわう介護技術発表会場



④介護食のテーマは「七夕の献立」

■ 研究発表（22題） ※発表会場・発表順

演題名	施設名
施設内における医療的ケア教育～自作DVDを用いた職員教育とその効果	天王森の郷
どのくらい水分を飲んだらいいの？～水分摂取量と水分トロミ濃度の統一化	美立の杜
座位保持能力を活かした『持ち上げない』移乗の導入～自立支援と介助負担軽減への取り組み	ゆうあいの郷
かまくら愛の郷における看取りの実践～看取り委員会で行った意識調査から見えてきたもの	かまくら愛の郷
わかって、私の気持ち～見ることで見られること～排泄介助を考える～	シルバータウン相模原
特養の開設1年目で取り組んだ多職種連携の褥瘡ケア～開設1年目から褥瘡0を目指して	けいあいの郷 影取
ご家族とのリスク共有への取り組み～意向に合わせたアプローチ	野庭苑
誤薬ゼロへの取り組み～配薬業務の改善	太陽の家
災害時、個別対応の為に備蓄及び給食提供システム改善～特別養護老人ホーム編	潤生園
食べるためのマネジメント～「口腔ケア」から「口腔衛生」へ	若竹苑
美味しく安全な食事を提供するために～介護食の在り方を検討	緑の郷
体に負担のかからない座位で食事を楽しむ～他職種連携で褥瘡改善	みなみ風
アクアリウムケア～利用者をつくる小さな水族館	メイサムホール
「私〇〇はこんな人間です」～利用者の気持ちを代弁して	サンホーム鶴間
ローマの休日～私たちの自由って…！？	かわいの家
やる気を生み出すレクの展開	小田原市鴨宮ケアセンター
また来たい！と思える施設を目指して～ショートステイリピーター獲得の為に取り組み	弥生苑
高齢者施設における防災のあり方を考えてみた！～地域との連携を目指して	けやき荘
私たち 福田南 地域みまもり隊～介護予防サポーター自主事業を集団援助技術の視点から	敬愛の園
長年住んだ精神病院から特養へのお引越し～「ここにいたい」にたどり着くまで	金井原苑
人生を支えるぞ！！～24時間シートを生かしたケア	わかたけ青葉
雇らない・持ち込まない・扱げないを合言葉に！～施設で取り組んだ感染症・食中毒予防対策	レジデンシャル常盤台

※詳しくは、大会ホームページ（<http://www.kanagawafukushitaikai.jp>）をご覧ください。